

第73期 中間報告書

平成30年4月1日から平成30年9月30日まで

- 1P 株主の皆様へ
- 3P 財務の概況
- 5P 会社情報
株式の状況
- 6P 進化し続けるOUGグループ DAIEITAIGEN(THAILAND)Co.,Ltd
タイ最大級の総合食品見本市
「THAIFEX 2018」に出展!!



代表取締役社長

勝田 昇

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第73期第2四半期連結累計期間（平成30年4月1日から平成30年9月30日まで）の事業および財務の概況のご報告を申し上げます。

平成30年12月

事業の経過およびその成果

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気の回復には、個人消費など一部に足踏みがみられるものの、企業収益、雇用・所得環境、生産活動、設備投資は総じて堅調であり、全体として緩やかな回復基調にありました。消費者心理は、日用品を中心に節約志向が依然として続き、回復には足踏みがみられます。

水産物流通業界におきましては、輸入水産物および国内水産物とも総じて調達コストが高止まりし、加えて業種・業態の垣根を越えた販売競争が激化するなど厳しい経営環境下にありました。

このような環境にあって、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の節減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は1,543億79百万円（前年同四半期比100.6%）となりました。損益面では、売上総利益は112億42百万円（前年同四半期比99.0%）となり、営業利益7億38百万円（前年同四半期比99.0%）、経常利益8億35百万円（前年同四半期比152.5%）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億29百万円（前年同四半期比428.0%）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業は、天候不順等により取扱数量は減少したものの販売単価の上昇により売上高998億97百万円（前年同四半期比101.8%）、セグメント利益7億12百万円（前年同四半期比104.8%）となりました。

<市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業は、販売数量は増加したものの販売単価の低下により売上高541億60百万円(前年同四半期比97.6%)となり、売上高の減少、売上総利益率の低下によりセグメント損失2億68百万円(前年同四半期はセグメント損失1億66百万円)となりました。

<養殖事業>

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業は、堅調な市況が続き、また、第1四半期連結会計期間より連結子会社が1社増加したことなどにより売上高38億1百万円(前年同四半期比124.1%)、セグメント利益2億34百万円(前年同四半期比106.4%)となりました。

<食品加工事業>

消費地にある食品加工センターにて水産加工、量販店向けにおにぎり等米飯加工などを行う食品加工事業は、売上高22億37百万円(前年同四半期比97.1%)となり、原材料価格の上昇などによりセグメント損失41百万円(前年同四半期はセグメント損失32百万円)となりました。

<物流事業>

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分け、自社便にて配送を行う物流事業は、取扱数量の減少により売上高9億95百万円(前年同四半期比96.5%)、セグメント損失40百万円(前年同四半期はセグメント損失34百万円)となりました。

<その他>

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他は、

売上高24億22百万円(前年同四半期比93.1%)、セグメント利益46百万円(前年同四半期比84.0%)となりました。

今後の見通しにつきましては、国内景気は一部に足踏みが見られるものの、緩やかな回復基調にあると予測されますが、海外経済や外国為替相場の動向など先行き不透明な状況にあります。

水産物流通業界におきましては、輸入水産物については世界的な水産物需要の高まり等を背景に調達価格は高値を継続し、国内水産物についても漁獲量の減少等を背景に魚価は高値傾向で推移すると予測されます。このような状況の中、消費者の日常消費に対する節約志向は継続し、業種・業態の垣根を越えた販売競争が激化するなど厳しい経営環境下にあると予測されます。

当社グループは、コア事業である「水産物荷受事業」および「市場外水産物卸売事業」、また、コア事業を支える「養殖事業」の事業基盤の強化を図るとともに、グループ内の加工機能、物流機能を最大限に活用し、グループ総合力の発揮により顧客が求める価値を提供してまいります。そのために経営基盤の強化を図り、業績の向上に努めてまいります。また、その一環として求められる情報システムのあり方や機能等について検討を進めます。

通期の連結業績予想につきましては、平成31年3月期売上高3,300億円、営業利益26億円、経常利益26億円、親会社株主に帰属する当期純利益18億円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

財務の概況

第2四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期 (平成30年9月30日現在)	前第2四半期 (平成29年9月30日現在)	前 期 (平成30年3月31日現在)
資産の部				
流動資産		62,442	61,409	56,878
現金及び預金		2,195	2,440	2,896
受取手形及び売掛金		33,090	32,845	32,238
商品及び製品		26,119	25,373	20,546
仕掛品		0	0	0
原材料及び貯蔵品		428	354	362
その他		776	547	992
貸倒引当金		△ 167	△ 151	△ 157
固定資産		19,366	22,191	19,267
有形固定資産		10,836	10,774	10,651
無形固定資産		203	2,443	239
投資その他の資産		8,326	8,972	8,376
投資有価証券		6,820	7,381	6,674
その他		1,931	1,896	2,086
貸倒引当金		△ 425	△ 305	△ 384
資産合計		81,809	83,600	76,146

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期 (平成30年9月30日現在)	前第2四半期 (平成29年9月30日現在)	前 期 (平成30年3月31日現在)
負債の部				
流動負債		50,559	53,365	45,038
支払手形及び買掛金		24,279	25,090	19,229
短期借入金		20,325	21,850	19,535
1年内返済予定の長期借入金		1,275	1,648	1,318
未払法人税等		241	362	264
賞与引当金		690	662	708
その他		3,747	3,751	3,983
固定負債		10,274	9,540	10,680
長期借入金		6,796	5,655	7,127
退職給付に係る負債		2,398	2,546	2,415
役員退職慰労引当金		128	118	122
その他		951	1,220	1,014
負債合計		60,834	62,905	55,719

純資産の部				
株主資本		18,981	18,995	18,822
資本金		6,495	6,495	6,495
資本剰余金		6,090	6,090	6,090
利益剰余金		6,419	6,480	6,260
自己株式		△ 24	△ 72	△ 23
その他の包括利益累計額		1,993	1,700	1,603
その他有価証券評価差額金		2,390	2,314	2,039
繰延ヘッジ損益		15	7	△ 11
土地再評価差額金		△ 356	△ 356	△ 356
退職給付に係る調整累計額		△ 56	△ 265	△ 67
純資産合計		20,974	20,695	20,426
負債純資産合計		81,809	83,600	76,146

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務の概況

第2四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期	前第2四半期	前 期
		(自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	(自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)
売上高		154,379	153,419	323,913
売上原価		143,136	142,066	300,331
売上総利益		11,242	11,353	23,582
販売費及び一般管理費		10,504	10,607	21,575
営業利益		738	745	2,007
営業外収益		220	291	405
受取利息		0	0	1
受取配当金		84	91	128
補助金収入		33	51	58
貸倒引当金戻入額		—	61	—
その他		102	86	217
営業外費用		123	489	799
支払利息		96	102	209
無形固定資産償却費		—	362	543
その他		27	24	46
経常利益		835	547	1,613
特別利益		10	18	651
受取保険金		10	—	—
固定資産売却益		—	18	18
投資有価証券売却益		—	—	633
特別損失		29	—	1,992
災害による損失		29	—	—
無形固定資産除却損		—	—	1,992
税金等調整前四半期(当期) 純利益		817	565	272
法人税、住民税及び事業税		193	402	264
法人税等調整額		94	39	105
法人税等合計		287	442	369
四半期(当期)純利益(△損失)		529	123	△ 96
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益(△損失)		529	123	△ 96

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期	前第2四半期	前 期
		(自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	(自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		12	△ 2,394	△ 1,249
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 310	△ 941	△ 360
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 413	3,639	2,369
IV. 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)		△ 712	303	758
V. 現金及び現金同等物の期首残高		2,891	2,132	2,132
VI. 連結の範囲の変更に伴う現金及び 現金同等物の増減額(△は減少)		11	—	—
VII. 現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高		2,190	2,436	2,891

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社情報 (平成30年9月30日現在)

OUGホールディングス株式会社

会社概要

主要な事業内容 定款に定められた事業を営むこと、ならびに定款で定められた事業を営む会社およびこれに相当する事業を営む外国会社の株式もしくは持分を保有することにより、当該会社の事業活動を支配、管理することおよびこれに関連する業務を行うことを目的としております。

設立 昭和21年6月12日(創業 昭和22年10月1日)

資本金 6,495百万円

発行済株式総数 5,562,292株

従業員数 連結 1,405名 単独 26名

役員の体制

取締役	代表取締役社長	勝田昇
	取締役	増田安利
	取締役	中江一夫
	取締役	橋爪康至
	取締役	梅島信也
	取締役	三浦正晴 (社外取締役)
監査役	常勤監査役	玉田耕也
	監査役	富田英孝 (社外監査役)
	監査役	和田徹 (社外監査役)
	監査役	伊藤博通 (社外監査役)
相談役	相談役	谷川正俊
執行役員	執行役員	岡田雅之稔
	執行役員	山田稔

株式の状況 (平成30年9月30日現在)

株式の状況

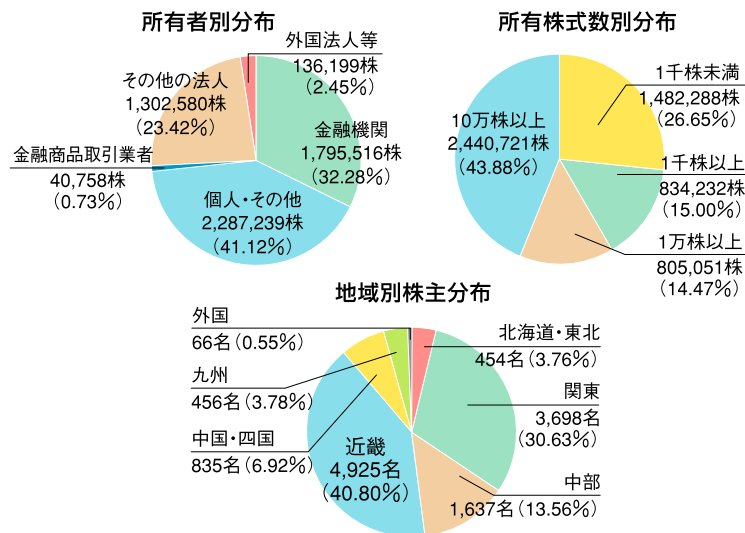
発行可能株式総数	20,915,900株
発行済株式の総数	5,562,292株
株主数	12,071名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
マルハニチロ株式会社	745	13.42
日本生命保険相互会社	265	4.77
農林中央金庫	263	4.75
株式会社りそな銀行	184	3.32
株式会社みずほ銀行	175	3.15
三菱UFJ信託銀行株式会社	151	2.74
株式会社三菱UFJ銀行	115	2.07
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社 大丸松坂屋百貨店退職給付信託口)	115	2.07
丸大食品株式会社	115	2.07
OUGグループ従業員持株会	110	1.99

(注) 持株比率は、自己株式(10,802株)を控除して計算しております。

株式分布



タイ最大級の総合食品見本市 「THAIFEX 2018」に出展 !!

DAIEI TAIGEN (THAILAND) Co.,Ltdは、OUGグループの(株)ショクリューが1988年にタイ・バンコク市に子会社として設立しました。同社は、タイ国内で買い付けたエビやイカなどの水産物を日本へ輸出したり、また日本の水産物を輸入しタイ国内で販売する業務を行っています。同社は2006年にベトナムのホーチミン市にも事務所を開設し、現地の水産物や加工食品などの調達を行い、日本向けに輸出しています。

同社は、本年5月29日から6月2日までバンコク市で開催された総合食品見本市「THAIFEX 2018」に、OUGグループとして(株)ショクリュー・(株)うおいちと協賛して出展しました。本見本市は世界46カ国から2,169社が出展し、アジアを中心とした近隣諸国をはじめ130カ国から5万人を超えるバイヤーが訪れるタイ最大級の総合食品見本市です。

OUGグループの出展ブースでは、サバやイワシを原料とした製品の紹介や刺身・寿司ネタ・プリフィーレ・醤油イクラ・ゆでタコなどの商品を展示し来場者にPRしました。

今後は、DAIEI TAIGEN (THAILAND) Co.,LtdをOUGグループの東南アジアにおける事業展開の拠点とし、同地域のマーケットの開拓に取り組んでいきます。

【会社概要】

DAIEI TAIGEN (THAILAND) Co.,Ltd

代表取締役社長：葉 瑞徳

拠 点：タイ(バンコク)事務所、
ベトナム(ホーチミン)事務所

従業員：10名

(日本人スタッフ・現地スタッフ)



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更等の各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続き用紙のご請求につきましては、三菱UFJ信託銀行(特別口座管理機関)の上記連絡先のお電話(受付時間:土日・祝祭日等を除く平日9:00~17:00)およびインターネット(24時間)でも承っております。
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部 (証券コード 8041)
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載の当社ホームページアドレス http://www.oug.co.jp

免責条項

本報告書に掲載している将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。
実際の業績は、さまざまな要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。

Web Information

当社ホームページでは、当社の最新ニュースを株主・投資家の皆様に向け、発信しております。IRニュースや決算発表のページ、動画によるグループ各社の紹介、優待の商品を掲載した株主優待のページなど様々な情報を掲載しておりますので、ぜひご活用ください。

TOP PAGE



COMPANY PROFILE



GROUP

グループ会社について
動画等で紹介しております。



<http://www.oug.co.jp>

OUGホールディングス株式会社

〒553-0005 大阪市福島区野田2丁目13番5号
うおいちニッセイビル5階
TEL:06-4804-3031 FAX:06-4804-3145
URL <http://www.oug.co.jp>